

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	8,911	6,550	9,207	0
事業費計		(千円)	8,911	6,550	9,207	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	4.00	0.60		
		時間外勤務 (時間)	330.00	66.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	29,047	4,233		
事業コスト		(千円)	37,958	10,783		

R02年度当初積算根拠	08旅費	68千円
	10需用費	261千円
	11役務費	18千円
	12委託費	7167千円
	13使用料及び賃借料	1920千円
	18負担金補助及び交付金	139千円

予算の方向性	理由	主に事業に必要とされる委託費（未登記等対策用予算）は、今のところ妥当と思われる。
維持		

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報								
事務事業名	578 道路新設改良事業							
戦略プラン					担当部課 係名	建設部道路整備課 工務係		
総合戦略					新規・継続	継続		
					事業分類	法定事務		
予算科目	01-080202-11 道路新設改良に要する経費			市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証			
要求区分		事業期間						
個別計画								
根拠法令	道路法 等			事業体制	職員のみ			
				市長公約				
概要								
事業の目的				事業の概要				
未改良の生活道路を改良し、道路としての機能を高め、道路網の整備を図ることにより、市域の土地利用、経済活動を活性化して、地域社会の環境を改善する。				・地元要望を踏まえ、一定の基準の下に必要な性を評価し、生活道路の整備を行う。				
評価								
事業計画				活動実績				
<ul style="list-style-type: none"> 道路改良工事 35路線 L=5,540m 測量設計業務 26路線 L=4,280m 				繰越事業 <ul style="list-style-type: none"> 道路改良工事 13路線 L=2,005m 測量設計業務委託 13路線 L=2,870m 現年度事業 <ul style="list-style-type: none"> 道路改良工事 11路線 L=2,250m 測量設計業務委託 21路線 L=3,470m 				
成果				課題				
計画的に改良整備を実施することにより、安全で円滑な交通を確保することができた。				生活道路は住民の生活に密着しており、整備に対する地元からの要望が非常に多いことから、市民の声を反映しつつ計画的・効率的に整備を行うことが必要とされる。				
改善目標（R02年度にむけて）								
道路整備の優先順位に基づき、測量設計・用地買収・工事を計画的に進める。								
指標の推移								
1	指標名	市道の改良率 (%)					活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	54.6	55.5	55.9	57.1	58.0	58.7	0.0
	指標の概要	市道の総延長に対し、道路の規格を改良した割合						
2	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	64,937	21,730	28,000	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	817,600	661,000	628,000	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	123,973	223,414	300,343	0
事業費計		(千円)	1,006,510	906,144	956,343	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	2.25	3.00		
		時間外勤務 (時間)	793.00	800.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	17,848	22,318		
事業コスト		(千円)	1,024,358	928,462		

R02年度当初積算根拠	旅費：普通旅費 51千円、特別旅費 44千円 委託料：測量設計委託料 178,820千円 不動産鑑定、補償算定 7,700千円 工事請負費：補助事業 56,000千円 単独事業 504,595千円 公有財産購入費：76,590千円 負担金補助：講習会受講料 213千円 補償金：132,330千円
-------------	---

予算の方向性	理由	委託料において、測量設計委託業務の路線数を削減したこと、また、工事請負費においては防安事業の完了により補助事業箇所が減少したため。
縮小		

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の実施計画を達成した。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	580 河川整備事業									
戦略プラン					担当部課	建設部道路整備課				
総合戦略					係名	工務係				
					新規・継続	継続				
予算科目	01-080301-12 河川整備に要する経費				事業分類	法定事務				
要求区分		事業期間			市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解				
個別計画						<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画				
						<input type="checkbox"/> 実行				
根拠法令	河川法				事業体制	職員のみ				
					市長公約					
概要										
事業の目的					事業の概要					
台風・大雨等による河川の氾濫、土砂崩れを最小限に食い止めるために、適切な防災対策を行い、住民被害の軽減を図る。					・集中豪雨、台風等に際し、八幡川の洪水や安全性を向上させるため、護岸等の整備を進める。					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> 八幡川河川改修工事 L=160m 中菅間地区測量設計業務委託 河川改修に伴う土地購入 					<ul style="list-style-type: none"> 繰越事業 八幡川橋梁予備設計業務委託 橋長L=20m 八幡川河川改修工事（北条地区） L=170m 					
成果					課題					
河川改修工事を実施することにより、河川の氾濫や増水に対する安全性を高めた。					近年の異常気象等による河川の氾濫や増水により、改修済み区間において護岸が破損してしまう状況にあるため、危険箇所から早急に対応する必要がある。					
改善目標（R02年度にむけて）										
未改修区間の中で、危険性・緊急性を要する箇所から整備することを基本として実施する。										
指標の推移										
1	指標名	河川の改修整備率					(%)		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	10.0	20.0	30.0	40.0	50.0	60.0		
	実績	0.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	0.0		
	指標の概要	八幡川河川の未改修区間の整備率								
2	指標名						()			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	51,100	21,400	101,600	0
	その他	(千円)	0	5,300	0	0
	一般財源	(千円)	19,355	10,741	54,804	0
事業費計		(千円)	70,455	37,441	156,404	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.00	1.75		
		時間外勤務 (時間)	380.00	150.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	8,001	12,241		
事業コスト		(千円)	78,456	49,682		

R02年度当初積算根拠	委託料：測量設計委託料 209,000千円					
	工事請負費：八幡川河川改修工事 82,500千円					
	公有財産購入費：9,004千円					
	補償金：44,000千円					

予算の方向性	理由	年次計画に基づき事業を進めており、委託料において橋梁詳細設計が必要となること、また、工事請負費について工事延長が伸びるため。
拡充		

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	2	計画から遅れている。(未達成)
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	11,277	4,950	97,800
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	8,300	95,500	85,800
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	0	2,384	26,981	41,825
事業費計		(千円)	0	21,961	127,431	225,425
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.00	1.90		
		時間外勤務 (時間)	0.00	333.29		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	0	13,709		
事業コスト		(千円)	0	35,670		

R02年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・旅費：普通旅費 12千円 特別旅費 12千円 ・需用費：印刷製本費 20千円 ・委託料：設計委託料 45,408千円 委託料 2,915千円 監理委託料 1,749千円 ・工事請負費：土木工事 77,246千円 ・負担金補助及び交付金 負担金 69千円
-------------	---

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	-	法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	582 街路整備事業									
戦略プラン	II	1	2	犯罪に強いまちづくりの推進			担当部課	建設部道路整備課		
	IV	2	(2)	犯罪に強いまちづくりの推進			係名	街路係		
総合戦略							新規・継続	継続		
							事業分類	法定＋任意		
予算科目	01-080402-11 街路整備に要する経費									
要求区分				事業期間			市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解		
個別計画								<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画		
根拠法令	道路法						事業体制			職員のみ
							市長公約			45
概要										
事業の目的					事業の概要					
<p>筑波研究学園都市地区及びつくばエクスプレス沿線開発地区において、国補事業を有効に活用しながら、街路灯及び自転車レーン等の整備を進めることにより、市民が快適で安全・安心を実感できるような都市基盤の整備を図る。</p>					<p>都市再生整備計画に基づき、街路灯整備及び歩道改修を実施している。また、防災安全交付金事業による通学路整備として、歩行者通行帯及び自転車レーン整備を実施するとともに、無電柱化整備として電線共同溝の整備を進めている。</p>					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> 測量設計委託、施工監理委託 4件（1件は積算委託） 街路灯設置工事（吾妻ほか4路線）4件 通学路通行帯整備工事（春日4路線）3件 街路改良舗装工事（春日5路線3件、竹園ほかペデ再整備10路線7件） 電線共同溝整備支障物件移設補償（竹園三丁目）1件 					<ul style="list-style-type: none"> 繰越事業 街路灯設置工事 3件 L=957.3m（設置数N=65基） 現年度事業 設計委託、積算委託ほか 5件 街路灯設置工事 2件 L=430.3m（設置数N=27基） 通学路通行帯整備工事 2件（歩行者通行帯整備L=615m） 街路改良舗装工事 1件（歩行者通行帯整備L=81.2m） 					
成果					課題					
<p>安全安心な住環境及び交通環境の整備のため、街路灯の設置及び歩行者通行帯の整備を実施することにより、歩行者等の安全を確保することができた。</p>					<p>通学路通行帯の整備については、現在「通学路交通安全プログラム」における計画路線は春日地区のみとなっているが、その他の地区についても整備を進めていく必要がある。また、街路灯整備については、つくば駅周辺の中心市街地は整備を進めており、国県の幹線道路に関しては、今後も関係機関と検討を進める必要がある。</p>					
改善目標（R02年度にむけて）										
通学路通行帯の整備について、必要に応じて教育局及び道路計画課と協議する。また街路灯整備については、関係機関に働きかけていく。										
指標の推移										
1	指標名	街路灯設置工事の整備延長 (m)					活動指標			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	1,970.0	2,283.0	921.0	1,836.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	694.9	1,342.2	1,387.6	0.0		
	指標の概要	街路灯設置工事の整備延長								
2	指標名	側溝入替え工事の整備延長 (m)					活動指標			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,626.0	600.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	696.2	0.0		

指標の概要	平成30年度までは「080403-11街路維持管理に要する経費」の事業であったが、組織改編に伴い、令和元年度から「080402-11街路整備に要する経費」に事業が移行したため、過年度実績がない。							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要								
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要								
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要								

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	92,592	127,340	122,750	177,000
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	96,500	136,800	335,300	139,900
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	11,857	89,631	63,225	79,720
事業費計		(千円)	200,949	353,771	521,275	396,620
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	2.25	2.90		
		時間外勤務 (時間)	811.00	450.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	17,892	20,779		
事業コスト		(千円)	218,841	374,550		

R02年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・旅費：普通旅費 12千円 ・需用費：消耗品費 209千円 ・委託料：設計委託料 20,328千円 委託料 7,568千円 監理委託料 8,096千円 ・工事請負費：土木工事 462,493千円 ・負担金補助及び交付金 負担金 69千円 ・補償・補填及び賠償金：補償金 22,500千円 					

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	4 十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	3 法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	579 緊急地方道整備事業									
戦略プラン	II	2	1	交通移動体系の整備			担当部課	建設部道路整備課		
総合戦略							係名	工務係		
							新規・継続	継続		
予算科目	01-080203-11			緊急地方道整備に要する経費						
要求区分				事業期間			市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解		
個別計画								<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画		
根拠法令	道路法等						事業体制	<input type="checkbox"/> 実行		
								市長公約	<input type="checkbox"/> 評価・検証	
							職員のみ			
概要										
事業の目的					事業の概要					
国、県の補助事業を導入し、市内幹線道路の整備を行い、道路網の確立を図ることで、市全体の経済活動、地域活動を活性化する。					<ul style="list-style-type: none"> 一定の地域において、地域の課題に対応して一体となって行われる事業に対して交付される補助金を活用し、地方の創意、工夫を活かした個性的な地域づくりを推進する。 					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> 市道1-71号線道路改良舗装工事 L=200m 台町萱丸線道路改良舗装工事（第1工区）L=120m 台町萱丸線土地購入（第2工区）A=12,160㎡ 酒丸上沢線土地購入（第2期）A=1,800㎡ 					<ul style="list-style-type: none"> 繰越事業 市道1-71号線道路改良舗装工事 L=233m 現年度事業 台町萱丸線道路改良舗装工事（第1工区）L=110m 酒丸上沢線土地購入（第2期）A=476㎡ 					
成果					課題					
まちの骨格形成、安全で円滑な交通の確保や防災機能の向上とともに、重点的、効果的かつ効率的な事業の実施に向け、将来を見据えた整備が実施できた。					幹線道路を整備し、道路ネットワークを形成することで、ますます増大する交通量に対処するとともに、地域住民の利便性向上を図るため、計画的に整備し早期供用開始を目指す必要がある。また、用地買収が難航している箇所が散見し、整備が滞っている路線もある。					
改善目標（R02年度にむけて）										
年次計画に基づき整備を進め、早期供用開始を目指す。また、用地買収については引続き事業に理解と協力を求めていく										
指標の推移										
1	指標名	市道の改良率					(%)		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	54.6	55.5	55.9	57.1	58.0	58.7	0.0		
	指標の概要	市道の総延長に対し、道路の規格を改良した割合								
2	指標名						()			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	57,117	15,449	20,000	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	58,700	41,100	27,900	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	75,866	45,890	20,371	0
事業費計		(千円)	191,683	102,439	68,271	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	2.25	3.00		
		時間外勤務 (時間)	1,177.00	1,200.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	18,801	23,303		
事業コスト		(千円)	210,484	125,742		

R02年度当初積算根拠	旅費：普通旅費 51千円 需用費：消耗品費 1,105千円、印刷製本費 124千円 修繕料（パフォーマンスチャージ） 624千円 役務費：通信運搬費 38千円 委託料：測量設計委託料 12,100千円、施工監理 11,000千円 賃借料：設計積算システム機器賃借料 653千円 工事請負費：市道1-71号線 53,500千円 備品購入費：76千円					

予算の方向性	理由	組織改正により、都市計画道路整備に係る事業費を道路計画課に移行したため。
縮小		

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の実施計画を達成した。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	11,538	47,961	65,000	96,200
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	10,300	40,700	266,300	236,500
	その他	(千円)	0	8,403	6,226	0
	一般財源	(千円)	1,287	5,644	25,800	220,144
事業費計		(千円)	23,125	102,708	363,326	552,844
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	2.00	2.35		
		時間外勤務 (時間)	687.00	700.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	15,820	17,663		
事業コスト		(千円)	38,945	120,371		

R02年度当初積算根拠	旅費：普通旅費 24千円 特別旅費 356千円 委託料：補償費算定、土地評価再算定、不動産鑑定、用地測量 1,980千円 公有財産購入費：土地購入費 226,356千円 負担金補助及び交付金：スマートIC建設事業NEXCO負担金 74,880千円 補償・補てん及び賠償金：補償金 59,730千円
-------------	---

予算の方向性	理由	用地取得及び建設が具体的に進むことから事業費は拡充となる。
拡充		

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	2	計画から遅れている。(未達成)
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		